

岐阜県への移住・定住の推進 ～住みたくなる岐阜県へ～

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ
ミナモ通信

県では、人口減少社会においても活力を保ち続けられるよう、人口を維持・確保するため、地域の魅力向上、都市部からの移住定住に取り組んでいます。

平成27年度の岐阜県への移住定住者数は、集計を始めてからの6年間で最も増え、このうち子育て・若年層世代が約7割を占めています。

今年度からは、「仕事」や「住まい」に対する支援を拡充し、次世代を支える皆さんの移住定住を進めていきます。

平成27年度実績

- ・全体の移住者数が44.4%増加(H26 782人→H27 1129人)
- ・関東からの移住者数が大幅増(H26 76人→H27 159人)
- ・移住した世帯のうち30代以下が全体の約7割

■問/清流の国づくり政策課 移住定住係 ☎058(272)8078

県民の皆さんも活用できます！

地元で就職する 奨学金の返還を免除！

将来、岐阜県にUターンし、県内で活躍する意志のある学生に奨学金を貸与しています(免除条件があります)。※今年度の募集は終了しています。
【貸与月額】30,000円(年額360,000円) ■問/清流の国づくり政策課 移住定住係 ☎058(272)8078

農業を始める 稼げる農業に向けて一貫支援！

県、市町村、JAなどによる「地域就農支援協議会」が就農相談から営農定着までを、金融機関、自治会、商工会・商工会議所などによる「就農応援隊」が、移住から地域に溶け込むまでを支援。営農と生活の両面から、地域ぐるみで支える体制をつくっています。

■問/農政部農業経営課
☎058(272)8421

ぎふ就農ナビ 検索



空き家を活用する 改修をサポート！

岐阜県に新たに移住される方や、県内の多子世帯、新婚世帯を対象に、空き家の改修費用の一部を補助しています。
【補助率】補助対象事業費の1/3(上限100万円)

■問/清流の国づくり政策課 移住定住係 ☎058(272)8078

岐阜県 空き家活用支援事業費補助金 検索

空き家を探している、使ってほしい方へ

市町村によっては、空き家バンクなどの紹介制度があります。空き家をお探し、またはお持ちの皆さんは、まずは各市町村にご相談ください。

家を建てる ぎふの木で家づくりを支援！

ぎふの木で家づくり支援事業などにより、岐阜県の木を使った住宅の新築・リフォームを助成しています。【補助額】新築20万～32万円 リフォーム4万～16万円

■問/林政部県産材流通課 ☎058(272)8487 ぎふの木で家づくり 検索



3大都市圏で相談に応じています 県外で就学・就職しているご家族やお知り合いはいませんか？

東京・大阪・名古屋に移住・交流拠点を設置し、移住希望者への情報発信や個別相談を行っています。Uターン就職を検討している学生の相談も受け付けています。

■問/清流の国づくり政策課 移住定住係
☎058(272)8078

ぎふ ふるさと暮らし 検索

移住希望者と地域の皆さんがお互いに「良い縁だ」と思えるように、今後も相談者と地域をつなぐ橋渡しをしていきたいと思えます。

清流の国ぎふ 移住・交流センター(東京)
専任相談員 岩瀬 千絵さん



地域と移住者をつなぐ「移住定住コンシェルジュ」

県では、移住希望者と地域住民をつなぐお手本として、県内各地の4人を「移住定住コンシェルジュ」として委嘱。希望者が安心して移住を決断し、地域に溶け込んで安定した生活を送れるよう、活躍してもらっています。

子育て・若年層世代の方が、県外から移住定住することは、次世代の担い手として、地域の活性化にもつながります。皆さまの協力をよろしくお願ひします。

「移住定住コンシェルジュ」と、移住者へのインタビュー！



移住定住コンシェルジュ
ふるさと郡上会事務局
小林 謙一さん

郡上で生きる人たちは、自分で家建てたりと何でもできる人が多い。そういう姿にあこがれて、郡上へ移住する人が数多くいます。

移住と引っ越しは勘違いされやすいですが、それまでの生活基盤を全部捨てて移り住むのが「移住」。だからこそ、移住してきた人は相当の覚悟をしています。移住者は20～40代の方が75%と、地域の担い手となる若い人たちが中心です。新しい地域の仲間として関心を持ち、協力し合っほしいと思います。



愛知県から郡上への移住者
株式会社郡上割り箸 下駄事業部部长
諸橋 有斗さん

美濃市にある森林文化アカデミーに在学中、郡上おどりに参加。そこで、おどりに欠かせない「踊り下駄」が地元でつくられていないと知り、卒業後下駄の製作・販売事業を設立しました。

地元の方から受け入れてもらえるか不安もありましたが、温かく応援してくれる人がたくさんいました。郡上おどりは地元の人だけでなく、観光客も一緒に参加して盛り上がり。相手を受け入れる郡上おどりの素質が、まちづくりにも表れているのだと思います。